

新入社員企画 SDGs プロジェクト中間報告

-ベンチの作成と完成までの手順-

工事グループ

齋藤雅俊

1. はじめに

瀧上工業株式会社の新入社員の SDGs プロジェクトにおける活動として例年続いていたゴーヤプロジェクトに代わり、独自で企画の立案、実行の課題を受けた。そこで、21年度新入社員は伐採された木材を利用した募金箱の作成とベンチの作成を立案した。ここでは、ベンチ作成をした際の活動状況と出来形を報告する。

2. 設計と作業について

加工は、先輩社員の指導の下で行った。ベンチは表-1の寸法で作ることとした。また、大人2名が余裕で座れる程度の寸法で長さは1200mmとした。詳細な寸法は図-1、2に示す通りである。

表-1 ベンチの寸法

長さ	1200mm
幅	350mm
高さ	450mm

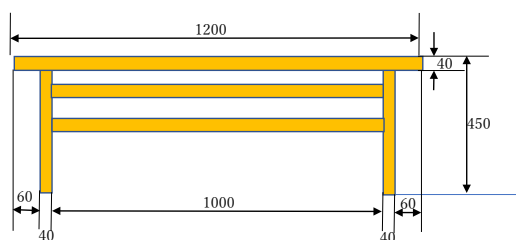


図-1 ベンチ側面図

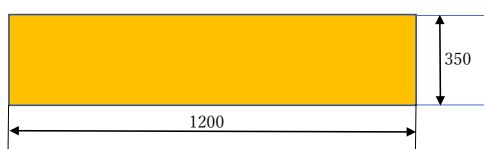


図-2 ベンチ平面図

ベンチは、既にスライスされている板厚40mmの板をそのままノコギリで切断し作ることとした。板は生木であり、各寸法の若干の違いや割れ、欠け、反りなどがある。そのためカット後のヤスリがけと仮組みの微調整を徹底することとした。

また、新入社員は電動ドライバー以外の電動工具の使用ができないため、大きな部材のカットは先輩社員にお願いした。

3. 作業前 KY

作業前に KY 活動を行った。この日は、慣れない工具を使った工作作業と最高気温が30°Cとされていたため、刃物による怪我と熱中症になる危険性が考えられた。そのため、工具の取り扱い確認と熱中症対策として30分ごとの水飲み休憩を行った。図-3はKY活動の様子である。



図3 KY活動

4. 作業手順

作業は、組み立てて完成までを一日で終わらせるスケジュールであった。作業手順と作業状況を以下の表-2にまとめた

表 2 作業手順と作業状況

(1) 材料選定	
(2) カット	
(3) ヤスリ	
(4) 仮組み (孔開け)	
(5) 微調整	
(6) 塗装	
(7) 組み立て	

(8) ニス塗り



5. 完成品と工作を通して

業務時間を丸一日使い、予定通り終わらせることができた。完成品は以下の図-4に示す。



図-4 ベンチ完成品

工作を通して完成品は、当初予定した寸法通りにはならなかった。出来形の寸法は以下の表-3である。

表-3 出来形寸法

長さ	1100mm
幅	360mm
高さ	435mm

考えられる理由として以下にまとめた。

- ・慣れない作業でそもそもの工作精度が低い
 - ・ノコギリの刃厚を考慮した罫書きがおこなえていなかった
- 刃の厚さを考慮した罫書きは次回の募金箱作りの教訓とする。

